

「エリアマネジメントと再開発事業 ～計画、実践の課題と展望～」

市街地再開発事業においては、広場、空地等の公共的空間や地域貢献施設のハード整備が必須となりますが、これを地域コミュニティ等とも結びつけて、施設完成後も使われる空間、継続的に維持管理される空間を実現するソフト手法として、エリアマネジメントの導入が定着しつつあります。特に、都心部や中心市街地での再開発においては、限られた土地を有効活用しまちの賑わいを創出する、という観点からも、計画の初期段階からエリアマネジメントを導入しハードとソフトを同時に検討することが重要です。また、計画の進捗と合わせて、地権者、参加組合員、行政、さらには、再開発施設の入居者等も含めた、事業の関係者がまちの方向性の共有し、再開発施設においてまちの価値向上につながるようなエリアマネジメント活動を展開することが期待されます。

本研究会では、エリアマネジメント導入・運用の専門コンサルタントと再開発コーディネーターを招き、両者が取り組んだ再開発事例（淡路町二丁目西部地区）でのエリアマネジメント導入経緯等を紹介し、加えて最新のエリアマネジメント導入の動向等を紹介して、再開発事業でのエリアマネジメントの導入プロセス、実践の課題と対策を解説します。

このテーマを通じて、再開発事業におけるエリアマネジメントの効果的な導入に関する理解が深まり、再開発事業の推進・実現と、その後の持続的なまちづくり活動の一助となれば幸いです。

◇内 容

1. 淡路町二丁目西部地区再開発事業におけるエリアマネジメント導入
  - ①事業の経緯とエリアマネジメントの必要性
  - ②エリアマネジメント導入経緯（計画、準備、実践）
2. エリアマネジメントの概論から最新動向へ
  - ①エリアマネジメント概論
  - ②近年の導入事例と今後の展望
3. 導入事例から学ぶ、再開発事業におけるエリアマネジメントの導入プロセス、実践の課題と対策（パネルディスカッション）

◇講 師

株式会社クオル 代表取締役 栗原 知己 氏  
株式会社佐藤総合計画 執行役員 都市デザインオフィス 都市開発 ディレクター 五十嵐 和孝 氏  
(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

◇コーディネーター

株式会社山下設計 プロジェクト推進部門 都市計画部 担当部長 古澤 健児 氏  
(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

◇都市計画 CPD

当プログラムは都市計画 CPD 認定の申請を予定しています。

日 時 : 令和4年6月23日(木) 14:00~17:00  
場 所 : ビジョンセンター浜松町(住所:港区浜松町2-8-14 浜松町T Sビル)  
※会場が外部会場ですので、ご注意願います。(https://www.visioncenter.jp/hamamatsucho/access/)  
定 員 : 約40名(但し、定員になり次第、締切と致します。)  
参 加 費 : 15,000円(会員は13,000円)(税込)  
※事前振込とし、当日参加費の現金取扱いは致しません。

申込方法 : 下記①、または②の方法にてお申込み下さい。

- ①右記申込みフォームよりお申込み下さい。【 <http://urca.or.jp/mailform/gijyutu02/gijyutu02entry.html> 】
- ②下記申込欄にご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申込み下さい。

FAX 03-3454-3015 メール: jigyuu@urca.or.jp

※ 参加される方は、各自マスクをご用意頂き、必ず着用いただきますよう、お願い致します。

※ 受講当日は、受講票(後日送付)を忘れずにお持ちいただきますよう、お願い致します。

なお、開催2日前までに参加費の入金確認が取れない場合、受講票は無効となります。

会社名: \_\_\_\_\_ 電話: \_\_\_\_\_

請求書送付先: (〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

請求書宛名: \_\_\_\_\_

会員種別 ( 1.個人会員(正・賛助) 2.法人会員(正・賛助) 3.一般)

所 属・役 職 名	氏 名	連絡先メールアドレス